



# せたがや区議会だより

No.258

平成29年(2017年)1月1日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

## スカイキャロット展望ロビー条例などを可決 第4回 定例会

迎春

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から32件の案件が提出され、全て可決しました。

#### ●条例の新設

○スカイキャロット展望ロビー条例 1件  
(全員賛成)

区民の交流促進やさらなる観光振興を図るため、キャロットタ

ワー26階にある世田谷区民会館第2別館の施設全体を展望ロビーとして位置づけることなど。

22件

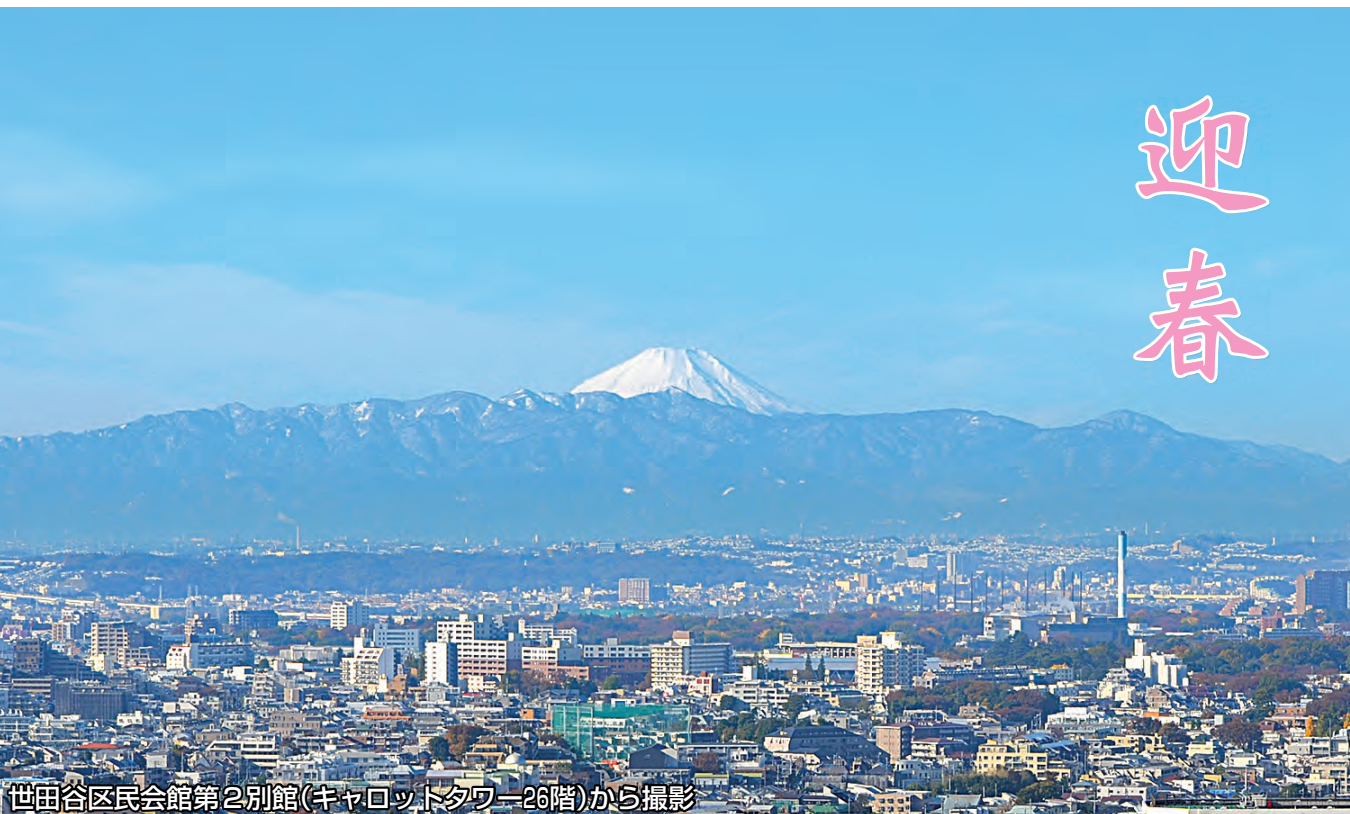
#### ●条例の改正

○職員退職手当条例 (全員賛成)

雇用保険法の改正に伴い、必要な規定を整備する。

○区税条例等 (全員賛成)

医療用から転用された医薬品の購入費用に係る医療費控除の特例を定めることなど。



世田谷区民会館第2別館(キャロットタワー26階)から撮影

### 新年のごあいさつ



世田谷区議会議員  
上島よしもり

明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年発生した熊本地震や鳥取県中部地震は、被災地に甚大な被害をもたらしました。災害の恐ろし

さを実感するとともに、事前の備えの重要性を改めて認識したところです。これを教訓に、執行機関と密接に連携しながら、災害に強いまちづくりを進めてまいります。27年度決算では、特別区税などが増収となったことから、25年度、26年度に引き続き、基金残高が特別区債残高を上回りました。しかし、本庁舎整備や公共施設の更新など、今後の巨額な財政需要を見据えると、持続可能な財政基盤の構築に向けたさらなる行財政改革が不可欠です。加えて、保育待機児の解消や東京2020オリンピック・

パラリンピック競技大会に向けた取り組みの推進など、区政課題は山積しております。これらの課題を解決するため、議決機関である区議会、今後も活発に議論し、皆様のご意見を区政に的確に反映できるよう、尽力してまいります。世田谷区議会が皆様にとってより身近なものとなるよう、区民に開かれた信頼される議会づくりに向け、全議員の力を結集して取り組んでまいります。

区議会活動への皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

出予算として管理することを目指すことなど。

#### ○公園条例 (全員賛成)

桜上水一丁目東公園(桜上水1-4-16)を新設する。

#### ○学校設置条例 (全員賛成)

城山小の位置を梅丘2-1-11に変更する。

#### ○職員分限条例 (全員賛成)

職員に対する分限処分に降給を追加することなど。

〈8ページへ続く〉

#### 会派名等

自 民 自由民主党世田谷区議団  
公 明 公明党世田谷区議団  
民 進 民進党世田谷区議団  
共 産 日本共産党世田谷区議団  
F 行 革 無所属・世田谷行革110番  
希 望 せたがや希望の会  
生 ネ 生ネネットワーク世田谷区議団  
減 税 減税せたがや  
虹 レインボー世田谷  
SPJ SPJせたがやすやかプロジェクト  
世田谷 世田谷無所属  
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

# 平成29年(2017年)年頭に当たって

議員の連絡先は平成28年12月22日現在

## 自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとうござい  
ます。皆様には、日ごろから多大な  
るご支援を賜り、心より御礼申し  
上げます。

新たな年を迎え、世田谷区にお  
いても東京2020オリンピック・パラ  
リンピックに向けた様々な取り組み  
が本格的に動き始めます。四年  
に一度、世界中が注目するスポー  
ツと平和の祭典は、世田谷区が将  
来に亘り成長・発展を遂げるため  
の礎を築く絶好の機会であり、大  
会の成功に向けて、国や東京都と  
のさらなる連携強化は不可欠です。  
また、日本各地で大規模な自然  
災害が相次ぎ発生する中で、区民  
の皆様の生命と財産を守るため  
は、あらゆる政策を躊躇すること  
なく総動員し、力強く推進するこ  
とも決して忘れてはなりません。  
しかし、現区長は、災害対策の

中核機能を担う本庁舎整備におい  
て、一部保存や景観を第一とする  
改築案を示すなど迷走を繰り返  
し、貴重な時間を無駄に費やしてき  
ました。また、世田谷区の弱点であ  
り、災害から区民の皆様の暮らし  
を守る根幹である道路整備は、区  
長自ら事業計画にストップをかけ  
る等、遅々として進んでいません。  
こうした状況を打開し、さらに、  
「一億総活躍社会」の構築に向け、  
区民の皆様の声をしっかりと国や  
東京都へ伝え発信していくことが  
出来るのは、安倍政権と距離を置  
く現区長ではなく、私たち自由民  
主党世田谷区議団に他なりません。  
私たち党派は、今後も国や東京  
都との強固な信頼関係の下、連携  
を一層深め、区民の皆様にとって  
真に必要な政策をしっかりと進め  
てまいります。具体的な政策課題  
には、次のとおり取り組みます。

- 乳幼児期から高齢期まで、区民  
の生涯を通じたニーズにきめ細か  
く対応し、それぞれが自立して、  
地域の中で支え合い、健やかに生  
活できるよう環境を整備します。  
①妊娠出産・子育て支援（生まれ  
る前から子育てを支援します。）  
②教育の充実（全国トップクラス  
の学校教育を目指します。）  
③障害児・障害者支援（個別の特  
性に応じた支援を充実します。）  
④就労・仕事支援（職住近接が可  
能な環境をつくります。）  
⑤結婚・家族支援（結婚しても世  
田谷に住み続けたい人を応援し  
ます。）  
⑥スポーツ・文化の推進（スポー  
ツと文化のまち世田谷のさらなる  
飛躍を目指します。）  
⑦地域活動支援（お互いに支え合  
える地域の絆をつくります。）  
⑧健康・長寿の推進（23区トップ  
の健康長寿を目指します。）  
●都市基盤の整備、安全・安心な  
環境づくりなど、区民生活を守り  
支える「縁の下力持ち」になり  
ます。

- ①道路・交通環境の整備促進（世  
田谷の弱点一を克服します。）  
②都市基盤の整備促進（誰もが歩  
いて楽しいまちをつくります。）  
③防犯・交通安全対策の強化（安  
全・安心な暮らしを守ります。）  
④防災対策の強化（いつか必ずや  
ってくる災害に万全の備えをし  
ます。）  
⑤環境の保全（美しい自然を守り、  
未来に継承します。）  
●持続可能な区政運営には、安定  
的な財政基盤を築くことが不可欠  
です。人件費の削減や組織の合理  
化、さらなる民間活力の導入など  
「現区政にはできない」行政改革  
を断行します。

## 無所属 世田谷行革110番

新年、明けましておめでとうござ  
います。国際情勢変動の中、先の  
見通せない諸政党とは一線を画し、  
年金・介護・子育てにしっかりと取  
り組むため、区長の「笑顔で予算  
を増やし、削る行革は渋る」財政

破綻の一途を辿る政治姿勢を厳し  
くチェックして参ります。区民要  
望トップの災害対策では私たちの  
主張もあって、保坂区長の非現実  
的な考えを引つ込めさせました。  
これからも権力におもねることな  
く、是々非々の立場で正々堂々、  
議会発言と不正に対する追及を行  
って参ります。区政不信の際は、  
どうぞ遠慮なくご連絡ください。

|                                                                                                                                      |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>おぎのけんじ<br>〒158-0093<br>上野毛4-13-11<br>6809-7120   | <br>石川 征男<br>〒157-0072<br>祖師谷1-9-16<br>3483-5111            | <br>石川 ナオミ<br>〒156-0056<br>八幡山3-23-26-102<br>5942-1285              | <br>あべ ひろゆき<br>〒154-0002<br>下馬3-16-13<br>3413-3740        |
| <br>河野 俊弘<br>〒154-0023<br>若林1-16-1-700<br>6805-4054  | <br>かみやま なおのり<br>〒154-0002<br>下馬1-18-7<br>6805-2607         | <br>かみやま よしもり<br>〒156-0052<br>経堂1-21-16-3F<br>6356-4344             | <br>かとう たいき<br>〒154-0017<br>世田谷1-28-13<br>6674-2391       |
| <br>みつ い みほこ<br>〒157-0066<br>成城1-25-12<br>3415-5255 | <br>まき なべ よしゆき<br>〒157-0063<br>粕谷4-20-18<br>3300-3940      | <br>はたけ やま しん いち<br>山 晋一<br>〒156-0041<br>大原1-16-3-112<br>3466-7005 | <br>すがぬま つとむ<br>〒154-0015<br>桜新町1-14-18<br>3428-2161     |
| <br>わだ ひでとし<br>〒158-0083<br>奥沢1-40-2<br>3720-3542  | <br>よし ひろ さ 吉 宏<br>〒158-0094<br>玉川3-1-18-402<br>5797-5050 | <br>やまの うち あきら<br>山 内 彰<br>〒154-0001<br>池尻4-29-18<br>3422-3455    | <br>やまぐち ひろひさ<br>〒158-0082<br>等々力5-4-2-602<br>3702-1819 |

|                                                                                                                                         |                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>あらい こと 皇<br>〒157-0073<br>砧7-4-12-103<br>6411-0515 | <br>あさくら まさひろ<br>大庭 正明<br>〒157-0063<br>粕谷3-15-3<br>3307-1179       |
| <br>こいずみ たま子<br>〒157-0068<br>宇奈根3-14-28<br>3415-0305  | <br>なかむら ゆうこ<br>田中 優子<br>〒156-0043<br>松原4-34-20-309<br>3322-8131   |
| <br>さいとう みき 樹<br>〒156-0045<br>桜上水4-18-25<br>6379-8300 | <br>もも野 よしふみ<br>桃野 よしふみ<br>〒157-0067<br>喜多見8-4-12-103<br>6751-1781 |

## 希望の 世田谷 の会

新年、おめでとうござい  
ます。激動として波乱が巻き起るかも  
しれない年が始まりました。しか  
し、いかなる国際政治状況、経済  
状況になろうとも、私たちの大切  
な世田谷の暮らしは、突き動かさ

れてはなりません。高齢者、障害  
者、子どもも含め、全ての区民が、  
住みなれた地域・地区で安全・安  
心に包まれ、のびのびと、笑い声  
が響き合うまちづくりが必要です。  
それには、将来を見通した理念、  
ビジョンを持ち、政策に優先順位  
を設けることが、議会の役割  
と考えます。本年もよろしくお願  
いいたします。

## 減税 せたがや

ふるさと納税赤字43億円解消のた  
め世田谷みやげ等の返礼品事業を  
提案し来年度実施が実現！今年も  
区役所や区議会のムダ遣いを許さ  
ず、サラリーマン、働く女性、若  
者、高齢者の声を区政に届けます。

|                                                                                                                                          |                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>かみかわ あや<br>〒156-0051<br>宮坂2-26-24-203<br>5799-7765 | <br>あべ りか 也<br>〒157-0076<br>岡本1-38-14-306<br>3412-1021 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## レイ ンボ 世田 谷

慶春。一人の議員でも条理を尽く  
した議論で多くの成果をあげるこ  
とができます。本当に困っている  
人こそ声を上げることが難しい。  
少数者として生きてきた経験は糧  
に「ちいさな声」を代弁します！



輪かざり作りの様子(次大夫堀公園民家園)

# 明けましておめでとうございます

## 公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。皆様からの公明党への温かなご支援に心より感謝申し上げます。

さて、英国のEU離脱決定に端を発し、先に行われたアメリカ大統領選では「既成勢力」からの脱却、転換を求める姿勢を貫いた候補が勝利し、世界は今、重大な岐路に立っているといえるでしょう。

日本を取り巻く国際情勢が大きく変化の中で、我が国では政治の質が厳しく問われています。昨年結党52年を迎えた我が党は、「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」の理念のもと、どこまでも「人」に焦点を当てて答えを示してまいります。

世田谷区では今後、増加する福祉需要と財政負担とのバランスを維持するため行政サービスの一部を民間とともに推進する官民連携を着実に進めていく必要があります。特に、区立の図書館、保育園、児童館など民営化を推進しつつ、

地域包括ケアや子ども家庭支援へ人材を再配備していくべきと考えています。

私も公明党は現在「2025年大介護時代へ備える」を重要政策として、高齢者の安心の介護と介護者の負担軽減を推進しています。今年は、2人に1人は経験すると言われる「がん対策」に全力を傾けてまいります。

- ①介護離職ゼロ
- ②保育待機児ゼロ
- ③孤立・孤独ゼロ
- ④がんゼロ
- ⑤不登校ゼロ
- ⑥薬物ゼロ
- ⑦虐待ゼロ

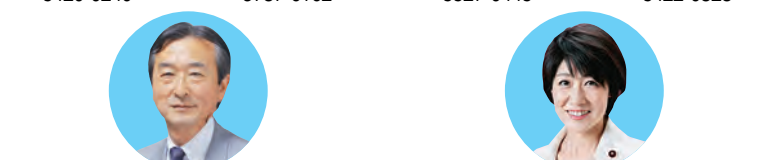
90万人を擁する大自治体となつた世田谷区が、これまでの23区横並びでの思考・発想から脱却し、東京都から権限とともに財源も移譲されるよう、あらゆる手法を駆使して歴史的な一歩を踏み出せるよう、区議団一丸となって働いてまいる決意です。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



佐藤 弘人 千歳台3-21-14 3482-7732  
河村 みどり 北鳥山8-2-16-104 3307-4884  
岡本 のぶ子 桜丘4-25-17-210 3427-0557  
板井 健 玉堤1-16-28 3704-8405



平塚 敬二 梅丘2-8-9 3420-0240  
津上 仁志 三軒茶屋2-28-11 5787-6162  
高橋 昭彦 赤堤2-30-12 3327-0443  
高久 則男 三宿2-14-7-304 3422-0828



諸星 養一 弦巻1-28-18 3426-7197  
福田 妙美 世田谷4-7-33-1F 5797-9825

## 世田谷民進党・ 社民党区議団

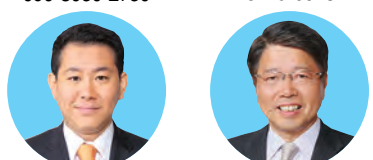
新年あけましておめでとうございます。昨年は民主党が民進党に生まれ変わり、私たちの会派名称も世田谷民進党・社民党区議団に変更致しました。会派メンバーも1人加わり、6人で世田谷区政の進展に力を尽くしてまいりました。



そのべせいや 下馬3-24-19 080-5466-0024  
風間 ゆたか 船橋1-11-11松本ビル3F 3429-6078



中村 公太郎 深沢5-10-6-202 090-8050-2750  
中塚 さちよ 船橋1-11-11松本ビル3F 3429-6078



藤井 まな 駒沢3-7-9-107 080-3216-4603  
羽田 圭二 野毛3-6-22 3702-3550

会側から後押しし、以下の重点政策実現に向けて取り組んでまいります。

- 「チルドレン・ファースト」社会の実現（保育待機児童解消、子育て支援・子ども若者支援・英語教育や国際交流の強化、学校教育の充実など）
- 自立と尊厳を支える福祉サービスの構築（世田谷版地域包括ケアの推進、認知症の方やその家族の支援体制強化、障がい者や難病の子ども等への支援策拡充など）

## 日本共産党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。7月に行われる都議会議員選挙では、豊洲への築地市場移転をめぐる食の安全が問われます。また日本共産党は、子育て支援や安心できる介護など、くらしを守る都政の実現に全力を挙げます。



桜井 稔 三軒茶屋1-6-11 5481-2928  
江口 じゅん子 赤堤1-40-13-303 5300-2735



中里 光夫 代田4-33-1 6265-7417  
たかじょう 訓子 千歳台5-23-13-505 6277-9697



村田 義則 深沢4-7-12 3703-7240

住宅耐震化、地区防災計画づくりなど、震災から区民の命を守るために、保坂区長と力を合わせてまいります。

防災対策に全力を挙げています。保育待機児童解消を目指し、認可を中心とした保育所の増設、保育の質を守るために保育士の処遇改善など、子育て支援に取り組んでいます。

## 生活者ネットワーク 世田谷区議団

謹賀新年。区民の皆様、誰もが安心して自分らしく暮らせる世田谷をつくるため、福祉と環境の向上に今年も取り組みます。保育待機児童解消、子どもの虐待防止、障がい者と高齢者の福祉充実、またごみ処理やエネルギーシフトなど地域の課題解決に向け、当事者の目線で政策提案していきます。今年も生活者ネットワークに、皆様のお声をお寄せください。



田中 みち子 豪徳寺1-20-7-101 3420-0737  
高岡 じゅん子 羽根木1-31-3 3420-0737

## せたがやすこやか プロジェクト

明けましておめでとうございます。本年も区民の皆様のすこやかな生活のために、子育て・教育環境整備、超少子高齢社会対策、公共交通の再整備に取り組んでまいります。皆様のご多幸をお祈りします。



すがや やすこ 給田5-2-13-115 090-2662-8887

## 世田谷無所属

謹賀新年。自転車の安全利用・新たな形の図書館・ゲリラ豪雨対策・高齢者施策・保育サービス等、本年も区民の皆様の立場に立ち、多くの方の声を反映させてまいります。よろしく願いいたします。



ひうち ゆう子 代田6-6-22-102 3466-3858

## 無所属

新年明けましておめでとうございます。今年は酉年。次世代を担う若者たちが未来を信じ、社会全体が明日に向かって羽ばたく一年になつてほしいと思います。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



あおぞら こうじ 大原1-39-1 3485-2726

11月28日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団  
三井 みほこ議員



具体性を欠く区長の行政経営改革

**質問** 区長が30年度から行うとした未来志向の行政経営改革は内容が不明確だ。本気で取り組む覚悟があるならば、スピード感を持ち29年度から具体的改革に着手せよ。

**区長** 利用者負担に係る検証を丁寧に進め速やかに見直し案を示す。

**健康寿命延伸に向けた施策の充実**

**質問** 住みなれた地域で健やかに暮らし続けることは区民共通の願いだ。高齢化が急速に進む中、健康都市世田谷として健康寿命の延伸に向けた施策を充実せよ。

**副区長** 生活習慣の改善や介護予防などに向けた施策の充実を図る。

**早期対応を重視した認知症対策**

**質問** 認知症の重度化を防ぐには、早期対応が重要だ。区内で認知症者が毎年約100人ふえている現状を踏まえ、進行の速い若年性認知症への対応も含めて適切に取り組め。

**高齢福祉部長** 予防や早期対応を重視し、施策を総合的に進める。

**三軒茶屋への行政機能整備の検討**

**質問** 三軒茶屋への新たな行政機能の整備を世田谷支所移転構想の破綻による妥協の産物としてはならない。三軒茶屋のまちの将来像を明確に示した上で整備を進めよ。

**副区長** 点在する施設の集約化や重複する機能の整理などに努める。

**道路整備への区長の消極的な姿勢**

**質問** 区長は過去の議会で、補助54号線2期3期区間の優先整備路線の扱いを見直すかわりに道路整備に尽力する旨を発言した。発言に見合う成果などは出ているのか。

**副区長** 2期3期区間に係る課題に対する検討や調査を進めている。

**危機管理の専門職の配置**

**質問** 首都直下地震などの有事に備え、区の危機管理体制を強化すべきだ。災害復旧の現場指揮に携わった経験を持つ自衛官などを危機管理の専門職として配置せよ。

危機管理室長 人材確保に向け職責や役割などの検討を進めている。

**緑の質と量の充実への取り組み**

**質問** 緑の質と量の充実は重要な課題だ。仮称生きものつながる世田谷プランと次期みどりとみずの基本計画に基づく取り組みにより、世田谷らしい緑の創出を目指せ。

**みどりみず部長** 一層有効性の高い方策を検討し、実行していく。

**団塊世代が活躍できる社会の実現**

**質問** 団塊世代が活躍できる社会を実現すべきだ。海外経験が豊富な区民に東京20大会のボランティアへの参加を積極的に呼びかけ、地域活動への参加促進につなげよ。

**生活文化部長** 大会ボランティアへの参加を促す仕組みを検討する。

**子どもの国際交流の機会拡充**

**質問** 東京20大会を契機に英語教育を充実すべきだ。交流事業の発展も視野に、スカイプなどのICTを活用して海外姉妹都市の学校などと交流を図るなど、工夫せよ。

**教育政策部長** スカイプなどによる交流も含め英語教育を充実する。

**商店街活性化に向けた支援の充実**

**質問** 地域経済活性化に向け、商店街を一層支援すべきだ。プレミアム付区内共通商品券発行事業と商店街の食べ歩きイベントなどを結びつけ、事業効果を一層高めよ。

**産業政策部長** 新たな産業ビジョンを策定する中で検討していく。

**交通不便地域解消への取り組み**

**質問** 急速な高齢化の進展を踏まえ、高齢者の外出を支える公共交通環境の整備は重要だ。他自治体の成功事例などを参考に、交通不便地域の解消に積極的に取り組め。

**道路・交通部長** 実現性や継続性を踏まえた対策の検討を進める。

**児童相談所移管に係る慎重な判断**

**質問** 児童相談所は子どもの命を守る重責を担うため移管は慎重に判断すべきだ。都区間の合意形成に努めた上で、人材確保や他区との連携手法などを詳細に示せ。

**副区長** 人材や財源の確保策などの検討状況をその都度報告する。

公明党世田谷区議団

板井 斎議員



音響効果を考慮した区民会館整備

**質問** 本庁舎整備において、十分な設備を備えた音楽ホールを設置を求める声がある。区民の期待に応えるため、音響効果を十分考慮して区民会館の整備に取り組め。

**総務部長** 可動式の音響反射板の設置などを検討し設計に反映する。

**がん患者の在宅療養の基盤整備**

**質問** がん対策推進条例に基づき、がん患者への支援を強化すべきだ。区内にはがん診療連携拠点病院が存在しないため、在宅療養を支える基盤の整備に着実に取り組め。

**保健所長** 多職種が参加する医療連携推進協議会などで検討を行う。

**小中学生の異文化交流の機会拡充**

**質問** 子どもが国際交流を通じて多様な文化に触れ合うことは、未来の世界平和を築く礎となる。姉妹都市交流事業を含め、小中学生の異文化交流の機会を拡充せよ。

**生活文化部長** 交流事業のあり方を議論する中で方向性を検討する。

**認可外保育施設利用への支援拡充**

**質問** 認可保育園の整備が計画どおりに進んでいない。一層緊張感を持って整備を進めることはもとより、認可外保育施設利用者への保育料負担軽減補助を拡充せよ。

**子ども若者部長** 今後の拡充については、申請状況を見きわめたい。

**児童相談所の移管を見据えた対応**

**質問** 児童相談所の区への移管を見据え、子育て家庭に対する地域での一貫した支援体制を確立すべきだ。まずは支所の子ども家庭支援センターを課組織に格上げせよ。

**副区長** センターの役割を検討する中で、組織のあり方を検討する。

**建設業の活性化に向けた支援充実**

**質問** 建設業では担い手の確保と育成が課題となっている。商業、工業、農業に次ぐ区内産業の4本目の柱として建設業を位置づけ、活性化に向けた支援を充実せよ。

産業政策部長 産業政策における建設業の位置づけを検討していく。

**幼児教育センター機能の先行実施**

**質問** 新教育センター構想での幼児教育センター機能を先行実施すべきだが、区の前向きな姿勢が見られない。具体的な道筋を示せ。

**教育長** 幼児教育アドバイザーなどの先行実施を視野に入れている。

**高齢者への免許証自主返納の促進**

**質問** 高齢者の自動車事故が後を絶たない。事故の未然防止に向け、あらゆる機会を捉えて認知症などによる運転のリスクを丁寧に説明し、免許証の自主返納を促せ。

**高齢福祉部長** 医療機関などと連携し自主返納を丁寧に働きかける。

**狭あい道路解消に向けた条例制定**

**質問** 狭あい道路の後退用地に植栽などが設置され、拡幅整備が進まない例がある。杉並区に倣い、後退用地への支障物件の設置を禁止する条例の制定に取り組め。

**副区長** 杉並区における条例施行後の効果などを注視していく。



本文中で使用している省略表記

みどりとみず部長

道路・交通部長

保健所長

防災・安全部長

支所

東京20大会

東京20オリンピック・パラリンピック競技大会

清掃一組

東京二十三区清掃一部事務組合

世田谷進党・社民党区議団

中村 公太郎議員



本庁舎整備の施工者選定のあり方

**質問** 予定価格が高額な入札では、落札率が1%違うだけで区の財政支出に多大な影響が生じる。本庁舎整備では競争性を重視し、一般競争入札で施工者を選定せよ。

**総務部長** 競争性の確保を前提に、最も適切な選定方式を検討する。

**産業政策部の新庁舎への移転**

**質問** 産業政策部が区の経済産業政策を牽引していくよう、区の中核組織との連携も考慮して執務場所を本庁舎に移転すべきだ。本庁舎整備の中で確実に実現せよ。

**副区長** 庁内連携の強化の観点から本庁舎への集約を想定している。

**区政の発展に向けた若手職員確保**

**質問** 区政の発展には若手職員の力が不可欠だ。業務の確実な継承のためにも、人件費の抑制に配慮しつつ若手職員を十分確保せよ。

**副区長** 組織の健全な発展に向けた適切な職員定数管理を進めたい。

**子育て利用券の利用促進への工夫**

**質問** 子育て利用券の利用が進んでいないと聞く。協力事業者をふやして一層魅力的なサービスを提供できるよう、区は尽力せよ。

**保健所長** 額面100円券の導入などにより地域活動団体の参加を促す。

**小中学生の海外派遣枠の拡大**

**質問** 海外派遣を通じて小中学生が相手と交流を図ろうと努力する経験は、成長する上での貴重な財産となる。派遣枠の拡大を確実に実現せよ。

**教育政策部長** 外国語で交流する力の育成に向け事業拡充に努める。

**英語を楽しく学べる場の充実**

**質問** 効果的な英語教育の推進に向け、子どもが楽しく学べる取り組みを進めるべきだ。教育センター移転後の施設内に英語専用の口ルブレイニングルームを設けよ。

**教育政策部長** 英語を身につける契機となる施設について検討する。

日本共産党世田谷区議団

江口 じゅん子議員



自衛隊の駆け付け警護への見解

**質問** 南スーダンへの自衛隊のPKO派遣で駆け付け警護を新任務とすることは、憲法が禁じる海外での武力行使につながり容認できない。区長として反対を表明せよ。

**区長** 平和国家としての姿勢を問われかねない事態と感じている。

**震災から命を守る施策の推進**

**質問** 区民が震災から命を守るよう耐震化や不燃化などの安全確保策を強化すべきだ。耐震シェルターや感震ブレイカー、家具転倒防止器具の一層の普及促進を図れ。

**防災・安全部長** 防災まちづくりの推進に向け、普及啓発に取り組む。

**保育の質確保への取り組みの強化**

**質問** 保育園での死亡事故や補助金不正受給など、保育の質を問われる事件が都内で相次いでいる。ガイドラインによる指導を徹底するなど、保育の質確保に尽力せよ。

**子ども若者部長** 質の高い保育に向け量的拡大と質的充実を実現する。

**多子世帯の国保料軽減策の検討**

**質問** 区長は先の議会で、多子世帯の国保料算定のあり方について区長会で課題提起している旨を答えた。我々が求める多子世帯の軽減策を区として具体的に検討せよ。

**保健福祉部長** 多子世帯の軽減策の実施などを都に要望していく。

**思春期の心の健康相談事業拡充**

**質問** 思春期や青年期の心の健康づくりを一層支援すべきだ。予約不要かつ匿名で気軽に相談できるこころスぺース事業を拡充せよ。

**保健所長** 新保健センターの整備の中で、心の相談機能も検討する。

**就学援助の充実**

**質問** 中学入学時に必要な学用品の購入費と就学援助で支給する中学校入学準備金の額には大きな開きがある。入学準備金を増額せよ。

**教育次長** 国の動向や財政への影響を踏まえ総合的に判断していく。

11月29日及び30日の本会議では、33名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

田中 優子議員  
(F行革)



海外姉妹都市交流の拡大

質問 小中学生の国際交流機会拡大に向け、区議会では有志議員による新たな姉妹都市交流の候補地の調査を進めている。区としても交流先拡大の検討を早急に進めよ。

答弁 議会の意見も踏まえ、29年度に一定程度の結論を出したい。

スカウト詐欺の被害防止への啓発

質問 モデル契約などを装ったスカウト活動を通じ、アダルトビデオへの出演を強要される被害が生じている。啓発チラシを活用し、中高生や保護者に注意喚起せよ。

答弁 高校への個別訪問を計画するなど、丁寧な啓発活動を進める。

非常勤職員の待遇改善

質問 出張所とまちづくりセンターとはは配属された非常勤職員の業務量と内容に大きな差があるにもかかわらず、賃金面などでの待遇が同じなのは問題だ。改善せよ。

答弁 出張所嘱託員の業務や体制なども含め、あり方を検討したい。

上山 なおのり議員  
(自 民)



三軒茶屋での施設整備のあり方

質問 三軒茶屋の新たな行政拠点化は低コストで整備すべきだ。民間建物の借り上げではなく、三軒茶屋ふれあい広場など区有地の有効活用も視野に整備を進めよ。

答弁 コストを抑えた効率的な施設整備に向け、検討を行っている。

災害時の簡易トイレ備蓄の啓発

質問 災害時のトイレ対策は重要だ。水洗トイレに加えてマンホールトイレなども使えなくなった場合を想定し、簡易トイレの備蓄の必要性を区民に十分啓発せよ。

答弁 区民向けのチラシを作成するなど、啓発を図っていく。

学校給食費の適正な管理

質問 鈴鹿市では野菜価格高騰に伴い予算内での調達が難しくなるとし、2日分の給食中止を検討

する事態に陥った。区は物価上昇を見据え給食費を適正に管理せよ。

答弁 予算管理の徹底と安全でおいしい学校給食の提供に努める。

そのべ せいや議員  
(民進社)

地域経済分析システムの活用推進

質問 客観的データに基づく政策の立案を推進すべきだ。行政や民間の持つ豊富な統計情報を国がインターネットで公開している地域経済分析システムを一層活用せよ。

答弁 他自治体の分析手法を参考に、各種施策への活用を研究する。

区民による政策提案の一層の活用

質問 行政情報の公開が進む中、区政課題の解決につながる情報は区民も簡単に収集できる。区民が多様な情報を活用して発案した政策提案を区は積極的に取り入れよ。

答弁 データ活用に基づく区民などからの提案も施策立案に生かす。

税外収入の確保策の強化

質問 区は税外収入の確保に向け、施設などを活用した広告事業を進めているが実績は伸び悩んでいる。年ごとの高い目標を掲げ、あらゆる手法で広告事業を展開せよ。

答弁 次期実施計画で中長期的目標を設定し、広告事業に取り組む。

佐藤 美樹議員  
(希望)

子育て利用券事業の見直し

質問 区は子育て利用券の利用手引きの作成事務等を事業者に丸投げし、計100万円程の委託料を支出している。利用しづらい現状も踏まえ、契約内容を抜本的に見直せ。

答弁 29年度以降については28年度の状況を見て判断していきたい。

新規事業に伴う柔軟な組織運営

質問 世田谷版ネウボラを含め、新規事業が次々と展開され増加傾向にあるが、それらを担える体制の構築が不十分だ。新規事業の実施の際は、柔軟な組織運営を行え。

答弁 多様な課題に的確かつ柔軟に対応できるよう体制整備を図る。

青少年交流センター運営のあり方

質問 仮称希望丘青少年交流センター開設に向け、29年1月に運営のあり方検討委員会が設置される。地域特性や地域住民の思いを十分反映できるように委員会運営を。

答弁 青少年を支援してきた地域住民に検討への参加を依頼したい。

あべ 力也議員  
(減 税)

ふるさと納税財源流出を阻止せよ

質問 区民の区外へのふるさと納税43億円により区民サービスの低下が懸念される。区へのふるさと納税を促進する返礼品導入等対策を講じ、財源の流出を阻止せよ。

答弁 29年度中の返礼品導入に向け、予算を確保していきたい。

動物「殺処分ゼロ」実現を

質問 小池新都知事はペットの殺処分ゼロの実現を公約の一つに掲げており、取り組みの強化が期待される。区としても動物「殺処分ゼロ」実現に向け、全力を尽くせ。

答弁 地域猫活動などを充実し、殺処分される動物を減らしたい。

学校での「いじめゼロ」実現を

質問 横浜市で東日本大震災に伴い避難した子どもへのいじめに対する同市の不適切な対応は許しがたい。区はいじめへの対応を最優先とし「いじめゼロ」を実現せよ。

答弁 いじめに最優先で対応する組織体制の構築を学校に指導する。

村田 義則議員  
(共 産)

小規模多機能型施設の整備推進

質問 高齢者の地域での在宅生活を支える介護基盤の強化は重要な課題だ。区が掲げる小規模多機能型居宅介護事業所の全地区への整備計画を一刻も早く実現せよ。

答弁 特養ホームへの併設などで、全地区に整備できるよう努める。

介護保険サービスの負担軽減拡充

質問 小規模多機能型居宅介護の宿泊サービスは低所得者には高額であり、区の負担軽減制度だけで

は負担が大きく利用につながりにくい。早急に負担軽減を拡充せよ。

答弁 制度の持続可能性も踏まえ、拡大は慎重に検討する必要がある。

国保制度改革への対応

質問 国は国保制度改革の中で、国保会計の赤字解消のための一般会計からの繰り入れを抑制する方針を示したが、保険料増額につながるため反対だ。区の認識を示せ。

答弁 被保険者の負担増については慎重な対応が必要と考えている。

河村 みどり議員  
(公 明)

東京20大会を通じた障害理解促進

質問 東京20大会を機に、障害者の活躍の場を積極的に創出すべきだ。障害への深い知識を有する民間企業などと連携して取り組みを進め、障害理解促進に結びつけよ。

答弁 必要に応じて専門性のある人から話を聞く機会を設ける。

生活困窮者の自立支援の強化

質問 生活困窮者の自立支援を強化すべきだ。区民税などの徴収窓口でアプローチ型の支援を行い多重債務に陥る危険性が高い人の把握に努め、適切な支援につなげよ。

答弁 債務に悩む人が早期に適切な支援を受けられるよう努める。

子どもの預かり事業の充実

質問 学童クラブの利用時間延長が進まない中、時間外の対応としてファミリー・サポート・センター事業の活用は有効だ。活用促進に向け、援助会員の確保を進めよ。

答弁 援助会員の確保に向け、受託事業者の運営体制強化を図る。

小泉 たま子議員  
(希 望)

地区のあり方の抜本的な見直し

質問 支所のみに総合窓口を設けるとした区の姿勢は、地区の窓口機能充実を目指した過去の区政と逆行しており、地区の衰退を招く地区のあり方を抜本的に見直せ。

答弁 総合窓口などを検証し、地区の窓口業務のあり方を検討する。

支所への子ども・若者部門の設置

質問 区が重視する子ども・若者施策は、地域との十分な連携のもと、実情を踏まえて展開すべきだ。支所に子ども・若者部門を設置し、児童館の所管も支所に移管せよ。

答弁 支所の組織のあり方や児童館へのかかりなどを検討したい。

外環道整備に伴う上部空間の活用

質問 外環道の整備が進む中、上部空間の有効活用は重要な課題だ。特に野川の旧河川敷について、区は地域とよりよい活用方法を検討し、実現に向けて着実に取り組め。

答弁 地域のまちづくりの動きに合わせ都との協議や調整を進める。

中塚 さちよ議員  
(民進社)

予期せぬ妊娠を防ぐ取り組み

質問 予期せぬ妊娠による人工妊娠中絶を防ぐ取り組みは重要だ。らぶらすの講座などを充実し、若い世代はもとより中年世代にも改めて家族計画の重要性を啓発せよ。

答弁 らぶらすの講座を充実するなど幅広い世代への啓発を進める。

社会福祉事業団の事業のあり方

質問 社会福祉事業団の介護保険事業は民間との重複が多い。区内に実施事業所がなく需要が高い療養通所介護事業など、民間参入が難しいサービスを担うよう求めよ。

答弁 民間でのサービス提供が難しい人も積極的に受け入れている。

都市基盤への緑化の推進

質問 都市基盤への緑化を進め、災害対策にもつなげるべきだ。駐車場への植栽などに係る補助対象を拡充し、雨水浸透による洪水被害の軽減を図るなど、工夫せよ。

答弁 民有地や公共施設の緑の充実に多様な主体と連携して進める。

中里 光夫議員  
(共 産)

若者支援事業の周知の強化

質問 区は若者支援事業を積極的に進めているが、取り組みを知らない区民も多い。事業をわかりや

すく記載した冊子を学校や図書館で配布するなど、周知を強化せよ。

答弁 メルクマールセタがやの支援内容の案内方法を工夫する。

学校図書館を活用した教育の充実

質問 区立校への学校図書館司書の配置拡大に合わせ、学校図書館を活用した教育の充実に取り組みべきだ。学校が効果的な活用への助言を受けられる体制を構築せよ。

答弁 専門性の高い仮称学校図書館アドバイザーの新設を検討する。

介護保険制度改悪による影響把握

質問 介護保険制度の改悪により、介護サービスが後退することは許されない。介護予防・日常生活支援総合事業における入浴サービスの実態を区はしっかりと把握せよ。

答弁 従来と同様の介護事業者のサービスは以前と同じ内容である。

河野 俊弘議員  
(自 民)

大規模災害時の犯罪防止策の強化

質問 大規模災害の発生直後には空き巣や窃盗などの犯罪が発生する危険性が高い。被災者に追い打ちをかける非人道的な犯罪を防ぐため、区は対応策を強化せよ。

答弁 避難所運営マニュアルへの防犯対策の反映などを検討する。

受動喫煙防止対策のあり方

質問 区は東京20大会の開催を見据えた受動喫煙防止対策として全区的に路上喫煙を禁止する方針だが、喫煙者への配慮も重要だ。喫煙所の設置も並行して進めよ。

答弁 バランスを考慮し喫煙施設整備に係る方針の策定を検討する。

バランスを考慮した分煙化の推進

質問 受動喫煙防止対策として飲食店などを一律禁煙とすれば、区民の混乱を招きかねない。喫煙者と非喫煙者のバランスを考慮した適切な分煙化の取り組みを進めよ。

答弁 国や都の動向を注視しながら、受動喫煙防止対策を進める。



桃野 よしふみ 議員  
(F行革)



生活困窮者への自立支援の充実

**質問** 生活困窮者自立支援制度の対象者の中には身元保証を得ることが困難なために就労につながらない人もいる。身元保証に係る経費の助成を行い自立につなげよ。

**答弁** 経費の助成を都に提案したところであり、対応を注視したい。

一刻も早い保育待機児の解消

**質問** 区が示した32年度という保育待機児の解消時期は、現在の預け先を求めている保護者にとって遅すぎる。時期の前倒しに向けて必要予算を最優先で投入せよ。

**答弁** 前倒しについては待機児対策の効果を検証しながら判断する。

自校調理方式への計画的な転換

**質問** 太子堂調理場の老朽化に改修で対応しても将来再度改修が必要となり、改修中の給食停止は家庭の負担となる。全区立中を自校調理方式などへ計画的に転換せよ。

**答弁** 自校調理などの実現も視野に検討を行い、転換に努めたい。

たかじょう訓子 議員  
(共産)



芦花小の児童数増加への対応

**質問** 芦花小の児童数はふえており、今後大規模マンションの建設による一層の増加が見込まれる。教室不足などの課題に適切に対応し、良好な教育環境を確保せよ。

**答弁** 将来的には増築も視野に入れて取り組むことも検討している。

学級運営の充実に向けた支援

**質問** 児童生徒一人ひとりに寄り添った学習指導を行うには、少人数学級での指導が大変効果的だ。教育長会を通じて少人数学級へのさらなる取り組みを強く求めよ。

**答弁** 少人数教育について、引き続き工夫して取り組んでいく。

烏山地域の交通不便地域の解消

**質問** 北烏山地区や給田地区の交通不便地域では、移動の利便性向上を求める住民の切実な声がある。

一日も早くコミュニティバス路線を導入し、住民の期待に応えよ。

**答弁** 道路幅員などの点で難しく、既存バス路線延伸などを検討する。

阿久津 皇 議員  
(希望)



生活保護受給者の自立支援の強化

**質問** 生活保護に係る財政負担が増す中、受給者をキャンセルから引き離すなど、生活保護への依存を断ち切って自立につなげる取り組みが重要だ。区長の見解を示せ。

**答弁** 受給者に応じた適切な支援を行い、適正な制度運営に努める。

総合運動場の利用環境の改善

**質問** 東京20大会を機に、総合運動場陸上競技場のスタンドなどが改修、改築される。地域の多様な競技団体の意見も反映し、区のランドマークとなるよう整備せよ。

**答弁** 各団体などの意見も聞き、拠点スポーツ施設として整備したい。

受動喫煙防止に向けた工夫

**質問** 受動喫煙防止対策は重要だが、一律に禁煙としなくても対策は可能だ。室内が禁煙か分煙かが一目でわかる表示の明示を飲食店に義務づけるなど、工夫せよ。

**答弁** 国の動きを踏まえ区民意見も聞き実効性ある対策を検討する。

和田 ひでとし 議員  
(自民)



保育士確保への先駆的施策の展開

**質問** 保育の質を維持しながら保育定員拡大を進めるためには、保育士確保が不可欠だ。区長はリーダーシップを発揮し、他自治体に先駆けた確保策を迅速に展開せよ。

**答弁** 処遇改善に向け、事業者と連携して積極的な施策を展開する。

スポーツの場確保への取り組み

**質問** 東京20大会を見据え、区民がスポーツを楽しめる場を拡大すべきだ。区内大学との連携を強化し、施設の提供に係る一層の協力を得るなど、工夫して取り組め。

**答弁** 施設提供などの協力を一層得られるよう、連携を強化する。

道徳の教科化と家庭教育

**質問** いじめなどの問題に対応するには、周囲の大人も一丸となり子どもの道徳心を育むことが重要だ。学校の道徳教科化と家庭教育の両輪から道徳教育を充実せよ。

**答弁** 道徳教育の新たな取り組みを保護者や地域に伝えていく。

石川 ナオミ 議員  
(自民)



CLTの活用促進への取り組み

**質問** CLTは耐震性や耐火性にすぐれた木材であり、国は普及に向けた取り組みを進めている。区も建築物への活用を積極的に促進し、環境負荷の低減につなげよ。

**答弁** CLTの普及に向けた国の動きを注視し、情報収集に努める。

清掃事務所の老朽化への対応

**質問** 区内の清掃事務所は老朽化が進んでおり対応が急務だ。区は世田谷清掃事務所について施設を移転整備する方針を示したが、移転可能な用地の見通しはあるのか。

**答弁** 用地を含めた諸課題を整理し、必要な整備に取り組みたい。

名刺を活用した区の魅力発信

**質問** 区職員の名刺を活用し、世田谷の魅力を発信すべきだ。地域振興や東京20大会に向けた機運醸成にもつながるよう、観光情報を掲載するなど、工夫して取り組み。

**答弁** 名刺を含めさまざまなツールを活用して区の魅力を発信する。

青空 こうじ 議員  
(無所属)



太子堂中の温水プールの維持管理

**質問** 太子堂中の温水プールの老朽化が進んでおり、設備面での不安がある。省エネ性能も有した高効率の温水用ボイラーを導入するなど、適切な維持管理に努めよ。

**答弁** 適切な維持管理を行い、適宜適切に設備更新も実施する。

見えづらい路面標示の改善

**質問** 区内には、横断歩道などの路面標示が薄くなり、見えづらい状態になっている箇所が散見され

る。交通事故の防止に向け、警察と連携して早急に改善せよ。

**答弁** 警察との緊密な連携のもと、交通安全施設などの充実に努める。

区内駅へのホームドアの設置促進

**質問** 区内駅でのホームドア設置が進んでいない。ドアの位置が違いう車両にも対応できる新技術が開発されたことも踏まえ、事業者にホームドア設置を強く働きかけよ。

**答弁** 新たな技術の活用も注視し、早期に設置されるよう働きかける。

おぎの けんじ 議員  
(自民)



民間と連携した交通不便地域解消

**質問** 民間活力を積極的に活用し、交通不便地域の解消を図るべきだ。私立校や民間企業の送迎バスの空き時間を活用した新たな交通サービスを展開するなど、工夫せよ。

**答弁** 他自治体の例を参考に、官民連携の手法などの検討を進める。

区が取得する国有地の安全対策

**質問** 上用賀4丁目と野毛1丁目の公務員宿舍跡地は区の取得決定以降手つかずのまま放置されており、不審者の目撃情報などが報告されている。安全対策を徹底せよ。

**答弁** 地域と情報交換を行い、必要な対策を検討して実施していく。

タブレット端末の導入効果の検証

**質問** 区立校へのタブレット端末の導入効果を検証することなく追加導入を検討する区の姿勢は理解できない。利用実態を調査し、教育現場でのICT戦略を練り直せ。

**答弁** 活用実態把握に向けた適切な調査内容や方法などを検討する。

上川 あや 議員  
(虹)



猛毒の石綿調査に4棟の調査漏れ

**質問** 国は、過去の震災で壊れた建物から石綿が飛散した教訓から、石綿使用建物の調査を区に求めたが、区は約28%もの民間建物について未把握。追跡調査を徹底せよ。

**答弁** 多様な機会を捉え、民間建築物における使用の把握に努める。

若年末期がん患者への無策改め

**質問** 40歳未満のがん患者は介護保険が使えず、20歳以上では小児慢性特定疾病としての補助もない。このため若年者の在宅介護の自己負担額は7倍。公的支援の検討を。

**答弁** ターミナルケア支援の検討を重要課題と捉え、検討を続ける。

職員同性カッパルへの処遇の平等

**質問** 千葉市は職員の休暇制度を同性パートナーにも平等に改めると発表したが区では私の質問後も遅々として進まない。規則は区長権限で改善可能。速やかに善処を。

**答弁** 多様な課題と合わせ人権保障の観点で推進に努めていきたい。

高橋 昭彦 議員  
(公明)



科学体験ができる場の充実

**質問** 科学技術人材の確保に向け、子どもの理科への関心を高める取り組みは重要だ。新教育センター整備に合わせ、子どもがいつでも科学体験ができる場を整備せよ。

**答弁** 新教育センターの機能の一つとして検討していきたい。

発達障害児への支援の充実

**質問** 子どもの成長を科学的な面から捉えることは、子どもへの有効な支援につながる。脳の動きなどが発達に及ぼす影響を分析し、発達障害児などの支援に生かせ。

**答弁** 教職員の発達障害に関する専門性の向上などを図っていく。

赤松公園のバリアフリー化

**質問** 赤松公園はユニバーサルデザインに十分対応しておらず、車椅子の利用者からは改善を求める声を聞く。バリアフリー化に向けたさらなる改修を早急に実施せよ。

**答弁** できる限り早い時期に手がけていきたいと考えている。

加藤 たいき 議員  
(自民)



就学前からの英語教育の推進

**質問** グローバル化が進む中、世界で活躍する人材を育成するためには、就学前からの取り組みが重

要だ。幼稚園などに外国人講師を派遣し、英語教育を推進せよ。

**答弁** 幼児などが生きた英語を体験できる施設整備を検討している。

区有地の有効活用

**質問** 区有地の有効活用を進めるべきだ。施設整備に向け国有公有地や民有地の購入を進めるとともに、未利用の区有地については積極的に貸し付け、収入増につなげよ。

**答弁** 施設移転後の区有地の貸し付けなどは条件を整えば進めたい。

新たなバス路線の運行便数の拡充

**質問** 等々力操車所と梅ヶ丘駅を結ぶバス路線の本格運行の内容が示されたが、日中短時間のみ運行だけでは不十分だ。利便性向上に向け、運行便数の拡充を求めよ。

**答弁** 需要喚起に向けバス利用への協力を町会などに依頼している。

田中 みち子 議員  
(生ネ)



妊婦健診未受診者への支援

**質問** 望まない妊娠を起因とした子どもの虐待死を防ぐ取り組みが急務だ。多様な事情で健診を受けられない妊婦への支援体制を医療機関と連携して早急に構築せよ。

**答弁** 妊婦健診未受診者などへのアプローチ方法を検討していく。

住民主体の介護予防活動への支援

**質問** 介護予防・日常生活支援総合事業での住民主体の地域デザインが円滑に行われる体制を築くべきだ。会食できる場の確保に向け区施設の利用環境を改善せよ。

**答弁** 区民や議会の意見も聞きながら、丁寧に検討していく。

障害者グループホーム整備の支援

**質問** 障がいのある子どもたちの親亡き後は深刻だ。家族が立ち上げたNPOなどがグループホームを整備する際は場の確保や経営基盤の強化などの課題がある。支援せよ。

**答弁** 施設整備につながるよう関係所管で連携して取り組んでいく。



問

質

般

一



代表質問、一般質問の模様を  
ホームページで録画配信しています。  
**世田谷区議会 議会中継**で検索！

羽田 圭二議員  
(民進社)



区民参加による区政運営の推進

**質問** 多様な意見を区政に反映することは、区民との信頼関係を高め、ひいては地域コミュニティの強化につながる。区長は区民参加による区政運営を一層進めよ。  
**答弁** 区民の自発性と決定権を尊重してまちづくりを進めていく。  
**障害者の生活支援の充実**

**質問** 区が重度訪問介護の給付に際し、身体障害者本人の状態を考慮して現行の上限を超える1日24時間の支給を認めたことを評価する。今後も障害者支援を充実せよ。  
**答弁** 個々の実態を踏まえて適切に判断を行い、生活支援に努める。  
**インクルーシブ教育の推進**

**質問** 障害の有無にかかわらず一緒に学ぶインクルーシブ教育を推進すべきだ。障害のある子どもやその家族の意見を踏まえ全区立校で十分な受け入れ体制を確立せよ。  
**答弁** 教職員の理解促進への啓発を行い、きめ細かな対応に努める。

津上 仁志議員  
(公明)



医療的ケアが必要な障害者の支援

**質問** 医療的ケアが必要な障害者への支援を充実すべきだ。医療的ケアに対応できる生活介護施設をふやすため、看護師の配置や医療器具の整備などへの助成を行え。  
**答弁** 既存施設での受け入れの可能性について意見交換などを行う。  
**区立校での平和資料館の活用**

**質問** 区立校の平和教育の充実に向けて平和資料館を積極的に活用するよう求めたが、取り組みが進んでいない。全ての区立校で訪問する機会を設けるなど、工夫せよ。  
**答弁** 近隣校の指導計画に位置づけるなど活用が進むよう取り組む。  
**三軒茶屋駅周辺の駐輪対策の強化**

**質問** 三軒茶屋駅周辺は駐輪場が不足しているが、整備用地の取得は困難な状況だ。老朽化が進む三

山内 彰議員  
(自民)



危機管理の専門職の配置

**質問** 災害発生時に災害対策機能を効果的に発揮するための組織体制を構築すべきだ。自衛隊などとの人事交流を活性化し、各種災害の専門家をバランスよく配置せよ。  
**答弁** 災害に的確に対応できる人材の確保に向け検討を進めている。  
**新庁舎の災害対策本部機能の規模**

**質問** 鹿島市の第2庁舎には消防団本部も入るなど防災機能が集約されており空間も十分確保されている。区は新庁舎の災害対策本部機能の規模をどう考えているのか。  
**答弁** 無線室などのほか、防災関係機関の待機場所も想定している。  
**消防団員確保に向けた支援の強化**

**質問** 消防団は地域防災の中核として重要な役割を果たしているが、区内の消防団員数は減少している。地域の防災力向上に向け、区は消防団員の確保を積極的に支援せよ。  
**答弁** 広報に力を入れるとともに、消防団の強化に向け一層取り組む。

藤井 まな議員  
(民進社)



外郭団体での障害者雇用の促進

**質問** スポーツ振興財団など3つの外郭団体における障害者の雇用率は、法定の障害者雇用率を満たしていない。東京20大会も見据え、区は当該団体を厳しく指導せよ。  
**答弁** 外郭団体連絡協議会などを通じ、継続的に指導や調整を行う。  
**災害時の車中避難者への支援**

**質問** 熊本地震の被災地では多数の被災者が車の中で避難生活を送り、体調を崩した人も多かった。これを教訓に、地域防災計画に車中避難者への支援内容を明記せよ。  
**答弁** 地域防災計画に車中泊の観点も取り入れ、対応していく。

白血病に係る骨髄ドナーの確保策

**質問** ドナーの負担が大きく白血病患者への骨髄移植が進んでいない。ドナー登録した従業員の移植に係る休暇日数に応じて助成金を交付する区の事業を周知徹底せよ。  
**答弁** 関係所管で一層連携し、骨髄移植ドナー支援事業を周知する。

すがや やすこ議員  
(SPJ)



介護施設の退所者への支援充実

**質問** 介護施設に入所している高齢者が医療ケアを受けるために3ヶ月以上入院した場合、退所を余儀なくされることが多い。行き場に困った高齢者を十分支援せよ。  
**答弁** 医療と介護の連携を進め地域で住み続けられるよう支援する。  
**医療が必要な高齢者の居住支援**

**質問** 介護施設に入所できない医療の必要な高齢者の居住支援を充実すべきだ。居住支援協議会を活用し医療が必要な方も入居できる民間賃貸住宅への入居につなげよ。  
**答弁** 今後協議会で情報共有し、民間賃貸住宅の入居促進に努める。  
**社会福祉法人の自主性阻害の懸念**

**質問** 国は社会福祉法人の定款作成例として低額で福祉サービスを提供するなど例示していたが、自主性の阻害につながりかねない。政省令公布に伴い見直されたのか。  
**答弁** 任意に記載を判断できる任意的記載事項として示された。

高岡 じゅん子議員  
(生ネ)



世田谷清掃工場に係る情報の公開

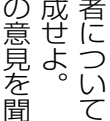
**質問** 稼働停止を繰り返す世田谷清掃工場の改善に向け、区民とも十分議論を重ねるべきだ。修理費用やその負担者など、議論に必要な情報の公開を清掃一組に求めよ。  
**答弁** 清掃一組に対してさらなる情報の公開を求めていく。  
**世田谷清掃工場への区民意見反映**

**質問** 世田谷清掃工場に係る将来的な対応方法の検討に際し、ガス化溶融炉廃止を望む区民意見を十分反映すべきだ。検討組織への区民参加の保障を清掃一組に求めよ。  
**答弁** 検討の場の公開と区民参加について清掃一組に申し入れたい。  
**在宅療養者への災害時の支援充実**

分反映すべきだ。検討組織への区民参加の保障を清掃一組に求めよ。

**質問** 医療的ケアが必要な人への災害時の支援体制を強化すべきだ。在宅での人工呼吸器使用者に加え、たん吸引器などの使用者についても個別の支援計画を作成せよ。  
**答弁** 区民や関係機関の意見を聞きながら検討していきたい。

ひうち 優子議員  
(世田谷)



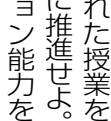
小学校での自転車安全教室の充実

**質問** 目の前で事故を再現して怖さを実感させるスクエアード・ストリート方式の自転車安全教室は効果的だ。全区立小で児童と保護者が一緒に参加できる機会を設けよ。  
**答弁** PTAなどからの要望に基づき、望ましい形で実施していく。  
**区立小中学校の法教育の充実**

**質問** 子どもが社会で生き抜く力を身につける上で、日常生活と法律とのかわりを学ぶことは重要だ。法律の専門家を一層活用し、区立小中学校の法教育を充実せよ。  
**答弁** 法律の専門家を活用した法に関する教育に引き続き取り組む。  
**コミュニケーション能力の育成**

**質問** 子どものコミュニケーション能力を高める教育が重要だ。就職後も見据え、ディベートなどの実践的な内容を取り入れた授業を区立小中学校で積極的に推進せよ。  
**答弁** コミュニケーション能力を培えるよう、授業の改善を進める。

福田 妙美議員  
(公明)



複数災害発生時の避難行動の啓発

**質問** 水害と土砂災害は集中豪雨などの際に同時に発生する可能性が高い。双方の情報を一元化したハザードマップを作成し、区民に適切な避難行動を啓発せよ。  
**答弁** 住民の声を聞き災害への意識が高まるマップの作成に努める。

多摩川の水害対策の丁寧な説明

**質問** 国の新たな多摩川洪水浸水想定区域を反映した洪水ハザードマップを区は作成予定だ。対象地域の住民にマップを配布した後に、地域特性を踏まえて説明会を行え。  
**答弁** 多様な機会を捉えて説明を行うなど水害への意識向上を図る。  
**若年のがん患者への支援強化**

**質問** 若年のがん患者への公的支援は限られており、治療費などの経済的負担は大きい。特に末期がん患者の在宅生活支援に向け、訪問介護の利用などへの助成を行え。  
**答弁** 若年の患者のターミナルケア支援とともに包括的に検討する。

ゆさ 吉宏議員  
(自民)



事業者の所得向上への取り組み

**質問** 「Make SETAGAYA Great 戦略」を立てて区内産業の魅力向上に努め、販路開拓の支援を行うなど区内事業者の所得向上に積極的に取り組め。  
**答弁** 所得向上も見据え、新たな産業・ビジネスなどの策定を進める。  
**本庁舎整備後も見据えた財源確保**

**質問** 本庁舎整備への巨費の支出後も見据えた健全財政維持の取り組みは重要だ。工事費の縮減に努めるとともに、区民会館の整備手法を工夫して税外収入確保を図れ。  
**答弁** 民間の事例も参考に、収入確保が可能な仕組みを検討する。  
**エリアマネジメンツへの支援充実**

**質問** ニ子玉川エリアマネジメンツが安定した収益事業を展開して利益の一部を公益に還元できる環境をしっかりと確立すべきだ。区は事業展開を積極的に支援せよ。  
**答弁** 好循環の仕組みの確立に向け、アドバイザー機能を発揮する。

真鍋 よしゆき議員  
(自民)



都区制度改革に臨む区長の姿勢

**質問** 児童相談所の移管などの課題解決を図るには都区制度改革の前進が不可欠だが、都は23区再編

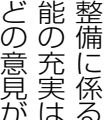
を前提としており議論が進んでいない。区長はどう取り組むのか。

**答弁** 制度変更の議論の前に対等な立場での協議が重要と考える。  
**都が徴収した23区固有財源の使途**

**質問** 都は23区の固有財源である固定資産税などの45%を水道事業などの財源としているが、配分割合と事業経費が見合っているか疑問だ。支出内訳の公開を求めよ。  
**答弁** 公開を求めて配分割合が適正か検証することは重要と考える。  
**区がかかわるイベントの件数**

**質問** 区は区内で開催されるイベントに主催や共催などの多様な形態でかわり、財政支援や人的支援などを行っている。27年度にかかわったイベントの件数を示せ。  
**答弁** 主催約230件、共催約210件、後援約480件、ほか約860件である。

大庭 正明議員  
(F行革)



新教育センター整備における懸念

**質問** 新教育センター整備に係る検討委員会で、研修機能の充実が教師の負担増を招くなどの意見が出ている。現場の実態を把握せずに新施設の構想を立ち上げたのか。  
**答弁** 研修に負担感を感じることがあるという実態は認識している。  
**就学前教育での縦割り行政の解消**

**質問** 就学前教育の充実に向け、子ども・若者部と教育委員会での縦割り行政を解消すべきだ。両部署が連携し、就学前児童に係る統一的な幼児教育の定義を確立せよ。  
**答弁** 区全体の幼児教育のあり方に係る検討委員会を立ち上げた。  
**新教育センターの整備の見直し**

**質問** 教育現場は新教育センターの整備を望んでいない。厳しい財政状況の中、箱物ありきで、多忙な教員に一層の負担を強いるだけの不要な施設整備案は撤回せよ。  
**答弁** 教育充実に向けセンターで専門的な取り組みを進めたい。

# 次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

↑ページからの続き

## ○職員給与条例

賛成多数  
賛成員、公明、民進、共産、希望、集、  
虹、SDJ、世田谷、無所属  
反対、移行、減税

## ○幼稚園教育職員給与条例

賛成多数  
賛成員、公明、民進、共産、希望、集、  
虹、SDJ、世田谷、無所属  
反対、移行、減税

以上2件は、給料月額を改定することなど。

## ●工事請負契約の締結

○旧若林中解体工事  
(全員賛成)

| 工事名 | 相手方・契約金額               |
|-----|------------------------|
| 解体  | 株式会社内村工業<br>二億八千八百四十万円 |

工期：29年11月17日

○代沢小解体工事  
(全員賛成)

| 工事名 | 相手方・契約金額                         |
|-----|----------------------------------|
| 解体  | 初谷建設株式会社<br>東京支店<br>二億三千万九千七百一十円 |

工期：29年10月13日

## ●指定管理者の指定

○障害者福祉施設  
(全員賛成)

## 施設名称

指定管理者

世田谷福祉作業所

社会福祉法人  
武蔵野会

## ●特別区道路線の認定

(全員賛成)

| 所在地    | 延長(m) |
|--------|-------|
| 大蔵5-10 | 22・67 |

(全員賛成)

大蔵5-10

延長(m)

63・89

(全員賛成)

●人権擁護委員候補者の推薦

(全員賛成)

松原曉氏、小島和子氏、鈴木賢治氏、古川進一氏、横山恵美子氏を候補者として法務大臣あてに推薦することとする。

## ●教育委員会教育長任命の同意

(全員賛成)

賛成多数  
賛成員、公明、民進、共産、希望、集、  
減税、虹、SDJ、世田谷、無所属  
反対、移行

堀恵子(新任)

## ●教育委員会委員任命の同意

(全員賛成)

松平昭二(新任)

## ●監査委員選任の同意

(全員賛成)

阿部能章(新任)

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

## ●採択したもの

○代沢二丁目の保育園の早期整備を望む陳情  
(全員賛成)

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願  
(全員賛成)

●新しく出されたもの

●企画総務常任委員会に付託

○沖縄県米軍北部訓練場ヘリパッド建設工事の中止を求める意見書等の提出に関する陳情

●区民生活常任委員会に付託

○地域建設産業の振興を図ることを求める請願

●都市整備常任委員会に付託

(全員賛成)

○世田谷区の建築物等の指導要領、要綱、条例による事業者の住民への周知・説明は、もっとも直接的で民主的な住民説明会の実施

## 要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

区民や小規模事業者を取り巻く環境は、長期的な景気の低迷に加え、世界的規模の経済状況悪化などにより、危機的かつ深刻な状況にあり、雇用不安の拡大、金融事情の悪化、後継者不足など、さまざまな危機にさらされています。

このような社会経済環境の中で、

世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。

こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。

よって、世田谷区議会は東京都に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き平成29年度以降も実施すること。

2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割減免措置を引き続き平成29年度以降も実施すること。

3. 商業地等における固定資産税水準の上限を65%に引き下げる減額措置を引き続き平成29年度以降も実施すること。

平成28年11月17日  
東京都知事 あて

## 区議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しになり、直接、会議の様子をごらんください。

傍聴席は、本会議では69席、委員会では6席（予算・決算特別委員会では12席）用意してあります。車いすでの傍聴もできます。

本会議や委員会の開催日については、区議会ホームページでご確認いただくか、区議会事務局にお問い合わせください。なお、定例会の会期については、区のおしらせにも掲載しています。

### ◇傍聴する場合

区議会事務局の傍聴受付で住所と氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

### ◇傍聴のお問い合わせ先

区議会事務局庶務係  
TEL (5432) 2772  
FAX (5432) 3030



## 編集後記

○今定例会では、37名の議員が、東京2020大会を見据えた取り組みや教育施策の充実など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様をホームページでライブ中継するほか、区役所第1・第3庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー（キャロットタワー3階）のテレビでも生中継します。また、ホームページではお好きな時間に視聴いただける録画配信も行っています。ぜひごらんください。

○区議会だよりのテープ版とディジー(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。また、区議会だよりの点字版も発行しています。区立図書館で貸し出していますのでぜひご利用ください。なお、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテープ版とディジー(CD-ROM)版も貸し出していますので、合わせてご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779  
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(2月中旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。